

学校での活用を考える参考案

あぶくまの 10 の仕事体験

地域の仕事の「本当の判断」を、子どもの学びに変える

小学校高学年・中学生・高校生／あぶくま地域／先生の準備負担を最小化

仕事を見せるだけで終わらない。考える→働く人から返る→直す→自分の言葉に残す

小学校高学年・中学生・高校生／産業課題・学習目標・安全・評価を一式化

吉田正之

産業課題調査：2026.09.09

対象は「あぶくま地域」 | 広く見る。でも、最初から全部やらない

あぶくま地域（公的な地域区分）

26 市町村・約

4,168km²

南北約 100km / 東西約 40km

森林・高原・農地・都市・沿岸までつながる

俯瞰

地域資源

産業課題

※事業名は「あぶくま地域」で統一。活動は関係をつくりやすい場所から始め、完成した型を地域全体へ広げます。

考え方

地域全体を対象に、1 件ずつ「本物」にする

進め方

- 01 地域名を並べるより、働く人の「本当の迷い」を集める
- 02 現場の数字・条件・判断基準を、学校で使える教材に変える
- 03 実証した体験は、同じ型で別の地域・産業へ増やしていく

小さく実証 → 改善 → あぶくま地域へ展開

あぶくまの「困った」は、仕事の教科書になる

産業を紹介するのではなく、働く人が毎日している「判断」を子どもの学びに変える

01 人が足りない

若者流出・採用難・運転手・介護人材

02 担い手が減る

農業・林業・地域の商いをどう続けるか

03 技能を残す

製造・建設・農林業の「勘」と判断

04 価値を届ける

地域産品・観光・小さな商いを誰へ届けるか

05 移動を守る

広い地域で、通学・通院・買物をどう支えるか

06 知恵を未来へ

和算・測量・地域文化・仕事の知恵を次へ渡す

仕事体験の核 = 「誰のために、何を大切にし、どう決めるか」を働く人と考える

地域全体を「一つの数字」で決めつけない | 現場の数字に置き換える

4

あぶくま地域の広さ

4,168km²

26 市町村にまたがる広い地域。産業も課題も場所によって違います。

農業で確かめたい条件

人数・農地・作物

担い手、農地、作物の状況を、資料と現場への聞き取りで確認します。

企業で確かめたい条件

採用・技能継承

人数、技能の継承、働き方など、協力先ごとの条件を確認します。

地域資料と、協力先の実際の条件を分けて確かめる

授業で使うときは、受入先への 30 分ヒアリングで「実際の人数・時間・費用・困りごと・判断基準」に置き換えます。

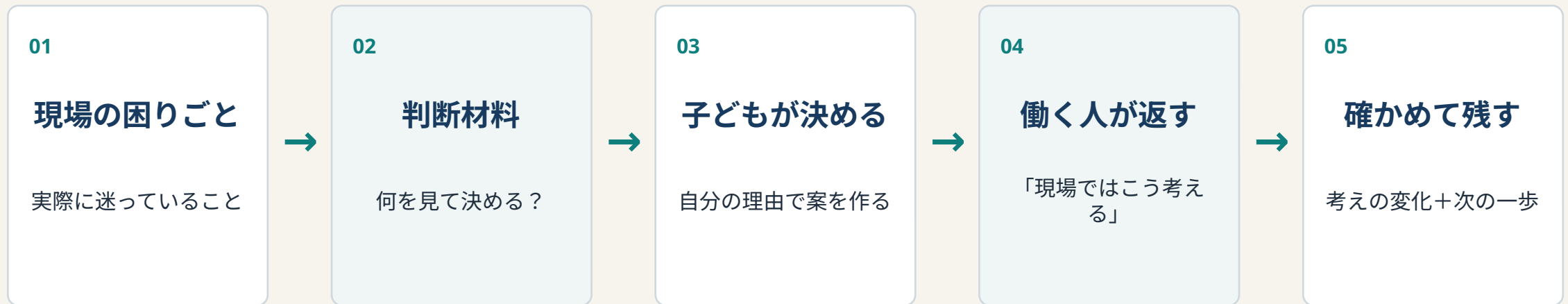
だからこそ

**公開データ → 現場の数字 →
子どもが判断できる教材へ**

[S1][S3][S4]

独自性 | 仕事を見せるのではなく、「仕事で迷う場面」を教材にする

5



吉田が学校と整えること：現場ヒアリング、匿名化、教材と安全条件、授業案

働く人の判断材料を、許可された範囲で教材にします。学校と協力先の振り返りを次の授業へ生かします。

なぜ、体験の学びが残りやすくなるのか

残るのは、楽しかったからだけではありません

01

自分で決める

条件を比べ、理由を持って選ぶ

02

結果が返る

相手の反応やデータで、ずれに気づく

03

直して試す

気づきを、行動の変更へ変える

04

言葉に残す

理由と変化を、成果物へ記録する

05

もう一度使う

別の授業や生活で、同じ考え方をを使う

一度の思い出を、後から使える「判断の仕方」へ変える

1回の体験で定着を保証しません。振り返りと別の場面での再使用まで授業として設計します。

[S17][S18]

体験をキャリア教育に変える 3つの問い+「残った」証拠

01 社会を見る

この仕事は、誰の何を支えていましたか？
仕事の役割と社会とのつながり

02 働く人と自分を見る

この人は何を大切に働いていた？
自分なら何を大切にしたい？

03 次へつなぐ

今日使った考え方を、次はどこで使いますか？
教科・生活・次の選択

「楽しかった」で終わらず、考えがどう変わったかを短く残します

時点	集めるもの	確かめること
体験前	初案・選んだ理由	自分の考えを持って参加したか
体験中	働く人の講評・追加条件	自分との違いに気づいたか
体験後	検討後の案・変えた・変えない理由	判断を確かめ、理由を説明したか
1週間後	別の授業・生活での一文	同じ考え方をもう一度使えたか

[S17][S18]

先生が使いやすい共通設計 | 1～2コマ＋前後の短時間で始める

事前 10～15分

問いを1つ
初案＋安全確認

体験 50～100分

仕事の条件
判断→講評→修正

事後 10～15分＋再使用

変えた・変えない理由を1文
後日5分でもう一度

小学校高学年

具体物・相手・役割

誰の役に立った？
自分は何を大切にした？

条件を少なくし、理由を1つ残す

中学校

立場の違いと判断理由

相手が変わると答えは？
なぜその案を選んだ？

複数条件を比べ、講評後に確かめる

高等学校

社会的責任と将来接続

何を優先・見送った？
自分の学び・進路とどうつながる？

実データや倫理を扱い、別課題で使い直す

10 件の全体像 | あぶくまの「仕事で迷う場面」から逆算

01 和算・測量 | 佐久間庸軒から「測る仕事」へ

地域の知恵／測量／土地・水・道

02 農業経営 | 農地をどう守る？

担い手減少／遊休農地／鳥獣被害

03 林業・木材活用 | 森をどう使う？

林業人材／森林管理／地域材利用

04 製造・技能継承 | 「勘」を品質に残す 技能者不足／若手採用／技能継承

05 建設・空き家再生 | 直す？使い直す？

人口減少／空き家／住宅の維持

06 商業・6次産業 | 地域のものを誰へ届ける？

地域産品／販路／小さな商い

07 観光・周遊 | もう1か所、もう1時間

周遊／滞在時間／地域資源

08 地域交通 | 少ない運転手で移動を守る 運転手不足／高齢化／広域移動

09 介護・生活支援 | 必要な支援をどう届ける

介護人材／高齢化／生活支援

10 地域企業・仕事継承 ZINE | 次の人へどう伝える

若者流出／採用／仕事・技能の継承

01 | 和算・測量 | 佐久間庸軒から「測る仕事」へ

対象 小5～高2

算数・数学／社会／総合／情報

受入先 和算保存会・測量・建設・自治体

正確に測ることは、地域の土地・水・道・暮らしをどう支える？

事前 10～15分

身近な場所を「どう測る？」と予想し、昔と今の道具を比べる

体験 50～100分

佐久間庸軒と門下生の測量の話聞き、簡単な測量→誤差比較→方法を修正

事後 10～15分

数学が仕事や地域づくりにどう使われるか、自分の言葉で残す

地域課題

地域の知恵・技術の継承／測量・建設・土地利用

仕事の判断

正確さ・目的・時間・安全を比べて測り方を決める

個人の証拠

測り方の初案・結果・検討後の案・個人の気づき

安全

道路・斜面では行わない。校庭・校内で実施。文化財見学は別計画

公開資料を入口にしたモデル案。実施前に受入先 30 分ヒアリングで、現場の数字・判断・安全条件へ置き換える。

[S19][S17][S18]

02 | 農業経営 | 農地をどう守る？

対象 小6～高2

総合／社会／理科／数学

受入先 農家・農業法人・JA・農政

限られた担い手で、どの農地をどう守る？

事前 10～15分

匿名化した農地図・作物・人手・被害条件から「まず何を守る？」を選ぶ

体験 50～100分

農家の判断基準を聞き、優先する農地・作物・対策を選び直す

事後 10～15分

何を優先し、何を見送ったか。その理由を1文で残す

地域課題

担い手減少／遊休農地／鳥獣被害

仕事の判断

人手・収益・農地条件を比べて優先順位を決める

個人の証拠

初案・検討後の案・個人の優先理由

安全

農機・農薬・わなは扱わない。圃場見学は別計画

公開資料を入口にしたモデル案。実施前に受入先 30 分ヒアリングで、現場の数字・判断・安全条件へ置き換える。

[S3][S5][S6][S7]

03 | 林業・木材活用 | 森をどう使う？

対象 小6～高2

総合／理科／社会／技術

受入先 森林組合・製材・木工・林政

限られた人手と予算で、どの森を整備し、木をどう使う？

事前 10～15分

樹齢・傾斜・道路・用途の模擬データから、優先する森を考える

体験 50～100分

林業者の判断を聞き、伐採・保全・木材利用の組合せを作り直す

事後 10～15分

安全・費用・環境・使い道の中で何を大切にしたら残す

地域課題

林業人材の確保／森林管理／地域材利用

仕事の判断

安全・採算・保全・使い道を同時に考える

個人の証拠

森林計画初案・検討後の案・個人の判断理由

安全

チェーンソー・急斜面作業なし。
写真・図・材サンプル中心

公開資料を入口にしたモデル案。実施前に受入先 30 分ヒアリングで、現場の数字・判断・安全条件へ置き換える。

[S8]

04 | 製造・技能継承 | 「勘」を品質に残す

対象 小5～高1

総合／数学／理科／技術

受入先 製造業・加工業

熟練者の「勘」を、次の人も使える品質基準にできる？

事前 10～15分

安全な紙部品で模擬工程を行い、ばらつき・不良を記録

体験 50～100分

検査基準や熟練者の着眼点を聞き、原因分析→改善→再試行

事後 10～15分

何を「見える基準」に変えたか、改善前後と一緒に説明

地域課題

技能者不足／若手採用難／技能継承

仕事の判断

感覚を数値・手順・見える基準へ変える

個人の証拠

改善前後データ・作業基準・個人の改善理由

安全

実機・刃物・熱源・薬品・重量物は操作させない

公開資料を入口にしたモデル案。実施前に受入先 30 分ヒアリングで、現場の数字・判断・安全条件へ置き換える。

[S2][S4]

05 | 建設・空き家再生 | 直す？使い直す？

対象 小6～高2

総合／数学／家庭／技術

受入先 工務店・設計・不動産・自治体

この建物は、直す・残す・使い直すのどれがよい？

事前 10～15分

匿名の建物情報・予算・断熱
・防災・利用者条件から初案
を作る

体験 50～100分

建築の判断基準を聞き、用途
・改修範囲・予算配分を再設
計

事後 10～15分

採用案と見送った案を、利用
者と地域の両面から説明

地域課題 人口減少／空き家／住宅の維持

仕事の判断 安全・費用・暮らし・地域価値
を両立させる

個人の証拠 改修案初案・検討後の案・個人
の判断理由

安全 工事現場作業・工具・高所なし。
図面・写真は匿名化

公開資料を入口にしたモデル案。実施前に受入先 30 分ヒアリングで、現場の数字・判断・安全条件へ置き換える。

[S3][S9]

06 | 商業・6次産業 | 地域のを誰へ届ける？

対象 小5～高2

総合／社会／数学／家庭・国語

受入先 生産者・商店・加工・飲食・商工

地域のを、誰に・何として・どう届ける？

事前 10～15分

原料・原価・数量・季節・顧客を条件カードで整理

体験 50～100分

作る人・売る人の判断を聞き、商品・価格・伝え方・販路を修正

事後 10～15分

作り手と買い手の両方にどんな価値があるか説明

地域課題

地域産品／販路／小さな商い／事業継承

仕事の判断

原料・コスト・顧客・地域性を商いへ翻訳する

個人の証拠

商品案初案・検討後の案・原価と個人の変更理由

安全

標準版は試食・調理・販売なし。食品衛生・実売は別計画

公開資料を入口にしたモデル案。実施前に受入先 30 分ヒアリングで、現場の数字・判断・安全条件へ置き換える。

[S10][S11][S15]
[S16]

07 | 観光・周遊 | もう 1 か所、もう 1 時間

対象 小 6 ～ 高 2

総合／社会／数学／国語

受入先 観光施設・観光協会・飲食・宿泊

一つの目的地から「もう 1 か所・もう 1 時間」をどう生む？

事前 10 ～ 15 分

来訪者・営業時間・移動時間
・季節・地域資源を地図で整理

体験 50 ～ 100 分

観光事業者の判断を聞き、立
寄り先・物語・移動を組み直
す

事後 10 ～ 15 分

誰向けの周遊か、なぜその順
番かを説明し改善

地域課題

周遊／滞在時間／地域資源のつ
ながり

仕事の判断

魅力だけでなく時間・移動・受
入条件を組む

個人の証拠

周遊案初案・検討後の案・個人
の根拠

安全

標準版は校内地図。現地調査は
交通・引率計画を別途作成

公開資料を入口にしたモデル案。実施前に受入先 30 分ヒアリングで、現場の数字・判断・安全条件へ置き換える。

[S12]

08 | 地域交通 | 少ない運転手で移動を守る

対象 中1～高2

総合／社会／数学／情報

受入先 バス・タクシー・自治体交通担当

少ない運転手で、誰の移動をどう守る？

事前 10～15分

匿名の利用目的・時間帯・停留所・車両条件から優先案を作る

体験 50～100分

交通事業者の優先基準を聞き、路線・予約・乗合の案を再設計

事後 10～15分

便利さ・公平性・費用・運転手負担のバランスを説明

地域課題

運転手不足／高齢化／広域の移動

仕事の判断

限られた人・車両・時間を誰にどう配分するか

個人の証拠

時刻・ルート案初案・検討後の案・個人の優先理由

安全

運転・道路上調査なし。模擬データと校内ワーク中心

公開資料を入口にしたモデル案。実施前に受入先 30 分ヒアリングで、現場の数字・判断・安全条件へ置き換える。

[S13]

09 | 介護・生活支援 | 必要な支援をどう届ける

対象 中1～高2

総合／家庭／保健／社会

受入先 介護事業所・地域包括・社協

人手が減っても、本人が望む暮らしをどう支える？

事前 10～15分

匿名の人物像・生活・希望・支援条件から「大切にすること」を選ぶ

体験 50～100分

介護職の判断を聞き、時間・役割・地域資源を組み合わせで修正

事後 10～15分

本人の希望と支える側の条件をどう両立したか振り返る

地域課題

介護人材不足／高齢化／生活支援

仕事の判断

本人の意思・安全・時間・人手を調整する

個人の証拠

支援案初案・検討後の案・個人の気づき

安全

実利用者情報・身体介助なし。尊厳・同意・退出選択を重視

公開資料を入口にしたモデル案。実施前に受入先 30 分ヒアリングで、現場の数字・判断・安全条件へ置き換える。

[S14]

10 | 地域企業・仕事継承 ZINE | 次の人へどう伝える

対象 小6～高2

国語／社会／総合／情報

受入先 地域企業・商工会・図書館・学校

地域の仕事の「良さ」と「大変さ」を、次の人へ正確に伝えるには？

事前 10～15分

質問を5つ作り、事実・引用
・意見と同意範囲を確認

体験 50～100分

働く人取材し、仕事の判断
・大切にしていることを1ペ
ージ ZINE にする

事後 10～15分

本人確認で修正し「自分が心
を動かされた点」を1文で残
す

地域課題

若者流出／採用難／仕事・技能
の継承／企業認知

仕事の判断

魅力だけでなく現実・責任・働
き方も正確に伝える

個人の証拠

取材メモ・本人確認票・ZINE・
個人の自己理解

安全

初期は非公開。氏名・顔・音声
・引用を別々に同意

公開資料を入口にしたモデル案。実施前に受入先30分ヒアリングで、現場の数字・判断・安全条件へ置き換える。

[S2][S4]

学校が目標と実施を判断 | 吉田が合意した準備を支援

学校しか決められないことは学校に残し、準備作業は持ち込みます

学校で確認すること	記入する内容
学校① 育てたい姿	今回見る力を 1 ～ 2 個選ぶ
学校② 今ある授業	単元・行事・総合・キャリア・パスポート等から置く場所を選ぶ
学校③ 参加配慮・安全	子どもの状況と学校ルールに照らして最終確認
吉田① 受入先	候補探し・日程調整・30 分ヒアリング
吉田② 授業案	1 枚授業案・ワークシート・進行台本を作成
吉田③ 安全・連絡	安全表・保護者案内文・同意文のたたき台を用意
吉田④ 実施後	短い記録を集計し、次回改善案までまとめる

目標・評価・教育課程・実施可否は学校が決定。吉田は「考える材料」を完成形に近い状態で持ち込みます。

[S17][S18]

今ある単元と地域の仕事をつなぐ

必要な時間と単元の目標を確認し、事前・体験・事後を既存の学習と結び付けます

01

事前 10 ～ 15 分

問いと安全を確認し、初案をつくる

02

体験 50 ～ 100 分

仕事の判断を知り、条件を比べて考える

03

事後 10 ～ 15 分

判断理由と、自分の役割を記録する

04

後日 5 分

別の授業での活用や残った問いを確かめる

05

学期末 5 分

経験のつながりと、次の学びを振り返る

先生が新しい「行事」を増やすのではなく、今ある学びを地域の仕事とつなぐ

評価は 1 ～ 2 個だけ | 4 つ全部を見ない

学校が今回の重点を選び、場面を絞って見取ります。児童生徒の記録を、教師の指導と学校の計画の改善にも生かします

候補	見る行動	集める証拠
人と関わる力	相手の立場を確認し、意見を班の判断へ反映	取材メモ・話合い記録
自分を知る力	自分の役割と行動を具体的に振り返る	役割記録・次の一歩
課題に対応する力	条件と根拠から案を作り、講評後に再検討	条件表・初案・検討後の案
学びと将来をつなぐ力	体験で使った力を、教科や次の選択へ結ぶ	キャリア・パスポート等

4 つは「選ぶための参考」。地域課題を解決できたかではなく、今回選んだ 1 ～ 2 個の子どもの変化を見取ります。

子どもが書くのは3行＋任意1行 | 先生は長文コメント不要

班の成果物とは別に、本人の言葉を短く残します。採点ではなく「変化の証拠」です

体験前

私は〇〇を大切にする。理由は〇〇だから。

最初の考え

講評後

〇〇を選んだ。働く人の〇〇を聞いて考えたから。

考えと、その理由

別の場面

〇〇の授業・生活で試した／まだ確かめたい。

活用した場面・残った問い

学期末・任意

前より〇〇できる。次は〇〇を試したい。

次の一歩

先生が一人ずつ長文添削する設計にはしません。記録用紙・集計表は吉田側で準備します。

[S17][S18]

安全・倫理の切替基準 | 本物に近づけるほど、線引きを明確に

農林業

農機・農薬・わな・急斜面・伐採作業は体験させない

→ 写真・地図・データ・材サンプルへ切替

製造・建設

実機・刃物・熱源・薬品・高所・稼働中作業区域に入らない

→ 校内の模擬工程／匿名図面へ切替

食品・実売

調理・試食・販売は許認可・衛生・保険・金銭管理を別計画

→ 標準版は企画・原価・販路設計のみ

介護・福祉

実利用者の個人情報・身体介助・疑似障害体験をしない

→ 匿名ケースと専門職講評へ切替

交通・観光

運転・道路上観察・無計画な現地移動をしない

→ 校内地図・時刻表・模擬データへ切替

取材・広報

氏名・顔・音声・引用は別々に同意。初期成果物は非公開

→ 本人確認後に公開可否を判断

実施の可否は、学校の安全計画・危機管理マニュアルと受入先の現場条件に沿って学校が最終決定

学校と吉田・協力先で確認する役割分担

学校：教育上の判断

- ①育てたい姿を選ぶ
- ②参加配慮を確認
- ③実施可否を決める

吉田：準備を持つ

受入先・日程調整
教材・安全表・文案
当日進行・記録集計

受入先：本物を返す

仕事の迷い・判断を話す
現場固有の安全を伝える
生徒の案へ講評する

初回相談

学校は3つを選ぶ

1～2週前

完成案を確認

当日

進行も伴走

実施後

集計して返す

教材・調整・記録整理を分担し、準備負担の軽減を目指します。実際の作業と必要な手続は学校と確認します。

最初の 90 日 | 「10 件をそろえる」より、3 件を本物にする

01 和算・測量

地域独自性が高く、安全に始めやすい。
数学と現代の仕事をつながられる

04 製造・技能継承

模擬工程で安全に実証でき、改善前後を
数字で見取りやすい

05 建設・空き家再生

住宅・建設の経験を生かし、「本物の判
断」を教材化しやすい

90 日アクション

0-2 週

受入先 10 者へ 30 分ヒアリング
「迷い・判断材料・基準・安全」を収集

3-6 週

3 件を 1 ～ 2 コマ版へ教材化
先生 3 ～ 5 人に「そのまま使えるか」を確認

7-10 週

小規模パイロットを実施
初案→講評→検討後の案→再使用を収集

11-12 週

先生の新規準備時間・生徒の変化・受入先負担を比較
次の 3 件を選ぶ

実証で確かめること：先生の準備時間、協力先の負担、生徒の判断理由と必要な支援。結果から実施案を改善します。

主な調査資料 1/2 | 2026 年 9 月 9 日時点

地域課題は公開資料から設定。実施条件は、受入先・学校へのヒアリングで必ず更新します。

S1 阿武隈地域振興協議会 | 阿武隈地域について

https://www.abukuma-shinkou.org/?page_id=113

S2 福島県 | 県中地域 若年層の地元定着・企業人材確保

<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/01220a/jakunensou-teichaku.html>

S3 田村市 | 基礎調査結果まとめ（人口・産業・農業・観光）

https://www.city.tamura.lg.jp/soshiki/1/assets/%E8%B3%87%E6%96%992_%E5%9F%BA%E7%A4%8E%E8%AA%BF%E6%9F%BB%E7%B5%90%E6%9E%9C%E3%81%BE%E3%81%A8%E3%82%81.pdf

S4 田村市 | 地域企業イノベーション創出業務委託

https://www.city.tamura.lg.jp/soshiki/66/tamuratakumi_proposal_1.html

S5 田村市 | 農業・遊休農地等

<https://www.city.tamura.lg.jp/soshiki/17/nitonouchi.html>

S6 小野町 | 地域計画（農業）

https://www.town.ono.fukushima.jp/soshiki/7/chiiki-keikaku_1_1.html

S7 三春町 | 地域農業・担い手関連

https://www.town.miharu.fukushima.jp/soshiki/7/entry_11.html

S8 田村市 | 林業・木材関連（市公式）

<https://www.city.tamura.lg.jp/>

S9 田村市 | 住生活・空き家関連

<https://www.city.tamura.lg.jp/soshiki/24/juuseikatu.html>

S10 小野町 | 空き店舗活用

<https://www.town.ono.fukushima.jp/soshiki/7/akitenpo.html>

主な調査資料 2/2 | 教育設計・地域資源

キャリア教育・学校安全は文部科学省資料を基準にし、地域固有の内容は現場ヒアリングで更新します。

S11 三春町 | 空き店舗活用

<https://www.town.miharu.fukushima.jp/soshiki/7/akitenpo.html>

S20 文部科学省 | 「生きる力」をはぐくむ学校での安全教育

https://www.mext.go.jp/a_menu/kenko/anzen/1416715.htm

S12 田村市 | 観光振興基本計画

<https://www.city.tamura.lg.jp/soshiki/18/kanko-kihonkeikaku-version2.html>

S13 田村市 | 地域公共交通計画

https://www.city.tamura.lg.jp/soshiki/1/assets/tamurasitiikikoukyoukoutuukeikaku_honpen.pdf

S14 田村市 | 高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画

<https://www.city.tamura.lg.jp/soshiki/15/>

S15 小野町 | 6次産業・地域産品等（町公式）

<https://www.town.ono.fukushima.jp/>

S16 田村市 | EC・地域産品販路拡大

https://www.city.tamura.lg.jp/soshiki/66/eckibankyoka_proposal_1.html

S17 文部科学省 | 小学校キャリア教育の手引き（2022年3月）

https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/career/detail/mext_01951.html

S18 文部科学省 | 中学校・高等学校キャリア教育の手引き（2023年3月）

https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/career/detail/mext_00010.html

S19 田村市 | 佐久間庸軒（和算・測量・門下生）

https://www.city.tamura.lg.jp/soshiki/30/bunkazai_yoken.html